

# 新潟の新公共交通をつくる市民の会 活動報告書

2010年6月12日 土曜日

## 「新公共交通導入に向けて」シンポジウム

### ● 行事結果概要

会場：新潟市中央図書館（ほんぽ一と）

多目的ホール

参加者数：77名（非会員含む）

行事活動内容：視察報告

上杉知之氏（新潟市議会議員） ソウルバスシステム

渡辺 均氏（新潟市議会議員） シドニーモノレール

講演

松井直人氏（国土交通省 都市・地域整備局 街路交通施設課長）

人と地球にやさしい都市交通を目指して



### ● 内容

#### ■ 新潟市議会議員 上杉知之氏 ソウルバスシステム視察報告

大韓民国ソウル特別市の最新バスシステムについて、2010年5月に新潟交通労働組合とともに現地へ赴き、視察したときの状況を報告していただいた。

複雑化していくソウル市内のバス交通を行政が中心となって変えていくこととなり、その中で役

割別にカラー化されたバスの運行や、基幹バス用の専用レーンの建設と発展、バス車庫視察、情報案内の紹介、運行管理システムなど、新潟市よりも進んだバスシステムに驚かれる参加者も多かった。

バスシステムだけではなく、自転車走行空間の整備、清溪川復元についてもわずかではあるが触れられ、参加者の関心も高くなっていったように思われる。



## ■市議員 渡辺均氏 シドニーモノレール視察報告

オーストラリアシドニーのモノレールについて視察したときの状況を報告していただいた。

7連接あるものの、1車体あたりの長さが非常に短い小型モノレールで環状運行しているとのことであり、新交通の検討をしている新潟市にとっても、非常に参考になるお話であった。

再開発地域に溶け込む姿を見て、こちらも参加者の関心は高くなっていったように思われる。

なお、モノレールのみならず、途中よりLRTに関する報告もあり、使用されている車両の写真も交えながらの紹介も行われた。また、これらの運行管理を行っている組織の訪問報告もあった。



## ■ 松井直人氏 国土交通省 都市・地域整備局 街路交通施設課長 講演

「人と地球にやさしい都市交通を目指して」と題して、以下の構成により講演いただいた。

1. 都市を取り巻く社会経済情勢の変化
2. 都市交通の課題
3. 21世紀のまちづくりと都市交通
4. 公共交通に対する公的支援
5. 社会資本整備総合交付金
6. 事例紹介

1と2は現状と課題について、3は展望、4と5は国土交通省による支援メニュー紹介、6は日本と海外の事例紹介である。

現状の日本における行政側から見た公共交通問題についての講演だけに、基礎を学ぶにはもってこいの教科書であり、パワーポイントの内容を見ながら、参加者は有意義に学ぶことができたと思われる。

とりわけ自助努力では難しい交通事業者に対する支援メニューについては、知らなかった参加者も多く、少しでも多くの理解に繋がったと思われる。

事例紹介は主に欧州であり、自転車も多かったが、国内事例として富山市の自転車の事例が紹介されて終了した。

